

チャレいば助け合い隊応援事業実施要項

1 目的

近年の急速な少子高齢化の進展等に伴い、社会経済システムや生活スタイルが大きく変化し、人々の価値観やニーズの多様化など社会情勢が大きく変化する中、子どもや高齢者の見守り支援活動、地域の防犯・防災活動、買物支援や環境問題への取組みなどの地域コミュニティ活動を活性化していくことがますます重要になっています。

また、コロナ禍により増加している生活困窮世帯への支援や、高齢者の孤立防止のためのITの活用支援など、新しい生活様式が定着する中での新たな課題への取組みも求められています。

このような課題に対応するため、地域で実践活動をしているネットワーカー等連絡協議会等が行う、行政の支援が届きにくい、地域での切実なニーズに対応するためのボランティア活動に対して支援を行うことで、住民どうしの助け合い精神による地域課題の解決を促進します。

2 補助対象者

- (1) ネットワーカー等連絡協議会
- (2) 複数の地域活動員から編成されるグループ
- (3) ネットワーカー等連絡協議会が推薦するボランティア団体等

※(1)、(2)については、他のネットワーカー等連絡協議会や、以下に掲げるボランティア団体等との共催事業も対象とします。

- ・NPO法人、ボランティアサークル、自治会、老人クラブ、子ども会などの地域住民組織 等

ただし、以下の団体等との共催は対象外とします。

- ・政治、宗教、特定の思想の普及に関わる団体
- ・暴力団又は暴力団員等の統制下にある団体
- ・団体として実態のないもの

※(3)については、ネットワーカー等連絡協議会が推薦する、地域課題の解決に資する事業を実施している団体等で、その事業の実施に当該連絡協議会の地域活動員が関わっていること。

3 補助対象事業の概要

(1) 対象となる活動内容

行政の支援が届きにくい分野の切実な地域課題やニーズに応えるために、ネットワーカー等連絡協議会（地域活動員等）の柔軟な発想や創意工夫に基づく自主的な取組み。

(2) 補助金額等

- ① 補助金額 20万円以内 補助率10/10
- ② 補助対象経費

この補助金の対象は、事業実施のために必要な経費とします。

ただし、証拠書類が整わない経費については、この補助金の対象外とします。

(別表)

補助対象経費の考え方

項目		対象経費の例	対象外経費の例
報 償 費		・無料塾や交流サロン等で講座を実施する場合の外部講師に対する謝金(1人当たり5千円/日を上限とする。)	・団体の構成員やボランティアに対する謝礼等
旅 費		・活動に必要な燃料費 (例)子ども食堂への食材運搬に係るガソリン代 等	・団体構成員のタクシー代 等
需 用 費	消 耗 品 費	・事務用品の購入費 等 ・新型コロナ感染予防のためのマスク・消毒液の購入費 等	・土産、記念品代 等
	印 刷 製 本 費	・事業の案内や協力会員募集のためのチラシ等の印刷費 等	
	食 糧 費	・子ども食堂等を実施する場合の食材費 等 ・熱中症予防のための飲料費 等	・会議の弁当、飲料費等
備品購入費		・原則として単価が補助金の1/2以内のもの	・補助事業専用と判断することが難しい備品(パソコン等)
役 務 費	通 信 運 搬 費	・郵送料 (例)チラシの郵送料 等	
	保 険 料	・事業参加者へのボランティア保険料	
使用料及び賃借料		・子ども食堂、交流サロン等を実施する場合の会場使用料 等	

※別表記載の他、補助対象としない経費の例

- ① 団体の運営に係る経常的経費(事務所の家賃、光熱水費など。申請した活動にかかる経費と明確に区分できない経費を含む。)
- ② スタッフの人件費
- ③ その他、チャレンジいばらき県民運動が不適切と認める経費

4 募集期間

令和3年9月1日(水)～令和3年10月29日(金)

※申請状況によっては、募集期間を延長することもあります。

5 交付申請手続き等

(1) 応募書類・提出方法

補助金交付申請書（様式第1号）、事業計画書（様式第2号）、収支予算書（様式第3号）及び次の書類を添付し、原則として活動を開始しようとする14日前までに、チャレンジいばらき県民運動事務局まで持参、郵送又はメールにより提出してください。

<添付書類>

- ① 団体の場合は、直近の総会資料（総会資料以外の場合は、団体の概要が分かる資料）
- ② 本事業で行う活動の参加者名簿（推薦団体が行っている事業の場合は、実施事業に関わっている地域活動員が分かるようにしておくこと）
- ③ その他本事業の内容、事業費の算出基礎が分かる書類

(2) 補助金の交付決定

- ① 補助金の交付申請があった時は、補助事業内容を審査のうえ補助金の交付を決定し、補助金交付決定通知書（様式第4号）により通知するとともに、補助金を交付します。
- ② 補助金は、概算払いにより交付します。

6 実績報告書

(1) 提出書類・提出方法

補助金実績報告書（様式第5号）、実施報告書（様式第6号）、収支決算書（様式第7号）及び次の書類を添付し、事業完了後20日以内又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに、チャレンジいばらき県民運動事務局まで持参、郵送又はメールにより提出してください。

<添付書類>

- ① 領収書等の経費を支払ったことが分かる書類の写し
- ② 本事業で行った活動に参加した者の名簿
- ③ 実施の様子が分かるもの（チラシ・写真など）

なお、補助を受けた者は、補助金の出納の状況、事業の実施状況、収支の状況（証拠書類）を5年間保存してください。

(2) 補助金の額の確定と精算

事業実績報告書の提出があったときは、事業内容を審査のうえ補助金の額を確定し、補助金確定通知書（様式第8号）を通知します。

7 補助金の返還

以下に該当するときは、補助金の交付決定の取消し、又は既に交付した補助金の全部又は一部を返還していただくことがあります。

- (1) 補助金を目的外に使用したとき
- (2) 前号のほかこの要項に違反したとき

令和 年 月 日

チャレンジいばらき県民運動 理事長 殿

申請者 住 所 _____
氏 名 _____ 印
(団体にあっては、名称及び代表者の氏名)

推薦団体 住 所 _____
名称及び
代表者氏名 _____ 印

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金交付申請書

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金の交付を受けたいので、チャレいば助け合い隊応援事業実施要項5(1)の規定により、下記のとおり申請します。

記

補助事業の名称	令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金		
算定基準額	円(収支予算書の算定基準額)		
交付申請額 (20万円以内)	円		
添付書類	1 事業計画書(様式第2号) 2 収支予算書(様式第3号) 3 その他参考資料		
補助金の振込先	金融機関	銀行	支店
	□座種別	1. 普通 2. 当座 3. その他()	
	□座名義	(フリガナ)	
	□座番号		

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業計画書

事業の名称	(例) 子ども食堂の運営	
事業の目的	※事業の対象者、地域での困りごとをどのように解決するか等を記載してください。 (例) 共働き家庭の増加や経済的理由などで、食事が満足にとれない子どもに食事を提供するとともに、地域交流の場を提供し、地域のネットワークづくりを行う。	
実施内容	※活動を実施する場所(施設の名称)や地域(市区町村名、小学校区名等)、活動内容(実施期間、実施回数等)、対象者へどのような支援・活動を行うのか、具体的に記載してください。 (例) 主に〇〇地区において、週に2回、子ども食堂を開設し、1食300円で食事を提供するとともに、地域住民の交流の場としても利用してもらう。	
事業実施期間・回数	令和 年 月 日 ～令和 年 月 日	実施回数: 回
他の補助金等の活用の有無	(有・無) ※有の場合は、活用する補助金等の募集要項等を添付してください。 (補助金等の名称)	
担当者連絡先	※事業の内容についての問い合わせや相談にご対応いただける方の氏名と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。	
	住所	
	団体名	
	担当者名	
連絡先	電話 FAX E-MAIL	

(注) 添付書類は以下のとおり

- 1 団体の場合は、直近の総会資料(総会資料以外の場合は、団体の概要が分かる書類)
- 2 本事業で行う活動の参加者名簿
- 3 その他事業の内容、事業費の算出基礎が分かる資料

(様式第3号)

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業収支予算書

1 収入の部 (単位:円)

区 分	予算額	積算内訳
チャレいば助け合い隊 応援事業補助金		
自 己 資 金		
その他の収入 ① 〔民間等補助金、参加 費収入等〕		
合 計		

2 支出の部 (単位:円)

区 分	予算額	積算内訳
補助対象経費		
	補助対象経費計 ②	
補助対象外経費		
	補助対象外経費計	
合 計		

※算定基準額 = 補助対象経費計② - その他の収入①

円

(様式第4号)

令和 年 月 日

(補助事業者名)

様

チャレンジいばらき県民運動
理事長 ○ ○ ○ ○

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金交付決定通知書

年 月 日付けで申請のあった、令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金について、要項5(2)の規定により下記のとおり交付することに決定したので通知します。

記

- 1 補助対象事業名 令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金
- 2 補助金の額 円
- 3 補助対象事業及びその内容は、申請書記載のとおりとします。
- 4 補助事業実施報告書を、要項6(1)の規定に基づき、事業完了後20日以内又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに提出してください。
(実績報告書には、領収書等の経費を支払ったことが分かる書類の写し、本事業で行った活動に参加した者の名簿、実施の様子が分かるもの(チラシ・写真など)を添付してください。)

(様式第5号)

令和 年 月 日

チャレンジいばらき県民運動 理事長 殿

申請者 住 所 _____
氏 名 _____ 印
(団体にあっては、名称及び代表者の氏名)

推薦団体 住 所 _____
名 称 及 び
代 表 者 氏 名 _____ 印

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金実績報告書

年 月 日付けで交付決定を受けた事業の実績について、下記のとおり報告
します。

記

補助事業の名称	令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金
交 付 決 定 額 (①)	円
実 績 額 (②)	円
差 引 額 (①-②)	円
添 付 書 類	1 事業実施報告書(様式第6号) 2 収支決算書(様式第7号)

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業実施報告書

事業の名称	(例) 子ども食堂の運営	
事業の目的	※事業の対象者、地域での困りごとをどのように解決したかを記載してください。 (例) 共働き家庭の増加や経済的理由などで、食事が満足にとれない子どもに食事を提供し、地域交流の場を提供したことにより、地域のネットワークが活性化した。	
実施内容	※活動を実施した場所(施設の名称)や地域(市区町村名、小学校区名等)、活動内容(実施期間、実施回数等)、対象者へどのような支援・活動を行ったのか、具体的に記載してください。 (例) 主に〇〇地区において、週に2回、子ども食堂を開設するための食材を購入。1食300円で、延べ100人に食事を提供した。 また、地域住民の交流の場としても利用してもらい、延べ150人の利用があった。	
事業実施期間・回数	令和 年 月 日 ～令和 年 月 日	実施回数: 回
他の補助金等の活用の有無	(有・無) ※有の場合は、活用した補助金等の募集要項等を添付してください。 ※申請の際、添付している場合は不要です。 (補助金等の名称)	
対象者からの感想・反応等		
担当者連絡先	※事業の内容についての問い合わせや相談にご対応いただける方の氏名と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。	
	住所	
	団体名	
	担当者名	
連絡先	電話	
	FAX	
	E-MAIL	

(注) 添付書類は以下のとおり

- 1 領収書等の経費を支払ったことが分かる書類の写し
- 2 本事業で行った活動に参加した者の名簿
- 3 実施の様子が分かるもの(チラシ・写真 など)

(様式第7号)

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業収支決算書

1 収入の部
円)

(単位:

区 分	予算額	決算額	内訳
チャレいば助け合い隊 応援事業補助金			
自 己 資 金			
その他の収入 ① 〔民間等補助金、参加 費収入等〕			
合 計			

2 支出の部

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	内訳
補助対象経費			
	補助対象経費計 ②		
補助対象外経費			
	補助対象外経費計		
合 計			

※算定基準額 = 補助対象経費計② - その他の収入①

円

(様式第8号)

令和 年 月 日

(補助事業者名)

様

チャレンジいばらき県民運動
理事長 ○ ○ ○ ○

令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金確定通知書

年 月 日付けで実績報告のあった、令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金について、要項6(2)の規定により下記のとおり確定したので通知します。

記

- | | |
|-----------|------------------------|
| 1 補助対象事業名 | 令和〇年度チャレいば助け合い隊応援事業補助金 |
| 2 交付決定額 | 円 |
| 3 概算払い額 | 円 |
| 4 確定額 | 円 |
| 5 差引給付額 | 円 |